

地域から熱意ある候補者を!

農業委員・推進委員の募集始まる

今夏に農業委員と農地利用最適化推進委員(以下「推進委員」と略)が任期満了を迎える19市町村のうち、11市町で次期委員の募集がスタートした(表上)。残る8市町村でも、3月から4月にかけて、委員の募集が順次始まる(表下)。

農業委員会	募集(受付)期間	募集人数(定数)	
		農業委員	推進委員
向日市	2月3日～28日	16	—
長岡京市	2月1日～28日	14	3
宇治市	2月16日～3月15日	14	4
城陽市	2月1日～3月1日	14	6
京田辺市	1月23日～2月24日	14	11
和束町	2月15日～3月14日	14	9
精華町	2月22日～3月24日	14	5
綾部市	2月13日～3月17日	19	17
福知山市	2月1日～28日	20	30
宮津市	2月21日～3月22日	14	10
伊根町	2月23日～3月20日	11	3

市町村	募集期間	農業委員	推進委員
大山崎町	2月27日～3月27日	8	—
久御山町	3月7日～4月5日	14	6
八幡市	3月1日～27日	14	8
宇治田原町	3月1日～24日	14	9
笠置町	4月上旬～下旬	10	—
南山城村	4月上旬～下旬	14	5
亀岡市	3月10日～4月10日	19	29
舞鶴市	3月1日～28日	19	17

委員の業務をチラシで啓発

福知山市 福知山市農業委員会で「農委だより」と市ホームページで委員募集を周知するとともに、啓発チラシを作成し、市内

全農家(6502世帯)に回覧した(写真)。チラシには、農業委員と推進委員の業務内容として、「農地の利用集積や有効活用」「担い手や新規就農者の支援」「地域計画の話し合いのコーディネート」「地区推進協議会の運営」などを明記している。



福知山市農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集します

第24期(27.20～25.7.19)福知山市農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期満了に伴い、次期農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集します。

農業委員

募集人数 20名

任期 令和5年7月20日から令和6年7月19日まで

職務 農家に對する指導を担い、農地の利用集積や有効活用への取り組み、担い手及び新規就農者の育成及び支援、地域計画の策定のコーディネートなど、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に關しその職務を適切に行うことができる者

農地利用最適化推進委員

募集人数 30名

任期 令和5年7月20日から令和6年7月19日まで

職務 農家に對する指導を担い、農地の利用集積や有効活用への取り組み、担い手及び新規就農者の育成及び支援、地域計画の策定のコーディネートなど、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に關しその職務を適切に行うことができる者

担当地区における現地活動(農地の利用集積や有効活用、担い手及び新規就農者の育成支援のための地域の話し合い、農地/トラロー(利用状況確認、耕作放棄地の発生防止・解消業務)、地域計画策定、地区推進協議会の運営等

頑張る「地区連」

の地区別会議で改正農業経営基盤強化促進法の勉強会を行った。同市は、地区別会議単位で今後の取り組み方を検討しており、目標地域の素案作成や農地中間管理事業に統合される利用

権設定の手続きなど制度の概要を学ぶとともに、今後の進め方や集落に働きかける方法などについて意見交換を行った。地区別会議では、「高齢化が進み5年後の耕作者がいない」「貸付希望地の借り手が見つからない」「集落営農組織の世代交代が困難」などの厳しい現状と同時に、「若

い就農希望者が複数いる」などの明るい情報も共有され、地区別会議での情報共有が、農地貸借のマッチングにつながる機会となり得ることを各委員が認識した。市と農業委員会で、1月24日に「ファシリテーション研修」を開催するため「万全の準備」に力

最優化推進委員の話し合いに関するスキルアップを図るとともに、2月14・15・17日の「農事組合長説明会」で地域計画と目標地域の作成について説明した。同市では、法改正を機に各地区で地域計画の話し合いを進めるため「万全の準備」に力

地域計画の話し合い推進へ

地区別会議＋ファシリテーション研修を実施



●京力農場プランの話し合いに向けたファシリテーション研修(1月24日)、●1月11日(若浦地区)の地区別会議

女性委員が「つないで発信」

地域振興交流拠点施設 今秋開業 「テオテラスいで」直売所で農業振興めざす



交流拠点施設の完成予想図

井手町では、国道24号の整備に合わせて町役場が移転し、今年の夏も秋に地域振興交流拠点施設が開業予定です。1月23日に施設の愛称が発表され、公募で町内外から424案集まった中から「テオテラスい

で」に決まりました。「井手の行く手を照らす希望あふれる場所」になればという願いが込められています。施設内に設ける農産物直売所に設置される1月18日と27日に開催されました。町内の農業者約20人の参加があり、自慢の野

菜を出荷しようという意気込みを感じました。「テオテラスいで」開業を契機に地域農業の振興を図るため、農業委員としてしっかりと活動していきたいと考えています。(井手町農業委員会・杉山徳子委員)

福知山市 おちゃのこ菜菜 千々岩千夏さん

自家製肥料で野菜が喜ぶ土作り



畑で野菜を紹介する千々岩千夏さん

生まれ育った福知山市長田で、昨年春に就農した千々岩千夏さん(43)。野菜嫌いの子どもに野菜を食べてほしいという思いから「甘くておいしい野菜」が育つ畑の土作りを力を入れている。米ぬか・魚粉・油かすなどを使い、45日間 毎日混ぜて微生物の発酵パワーで作る自家製有機肥料から「野菜が喜ぶ畑の土」が出来上がるという。収穫した野菜は、地元の小売店(ブランド・さとう・コナンの産直コーナー)を中

農deきらきら

大山崎町 小泉伸吾さん

24時間いつでも新鮮な野菜を提供



野菜の自動販売機と小泉伸吾さん

京オクラやナス、タケノコ 趣味のバンド仲間とのつながり、多彩な野菜を栽培する小泉伸吾さん(53)は、2年前、冷蔵機能を備えた「野菜の自動販売機」を設置した。全国的に珍しい冷蔵自販機は、夏場でも鮮度がよいという。手軽においしく新鮮な野菜を購入できる「消費者に人気だ。前職のアパレルショップや

大阪の飲食店などにも納品している小泉さんは、「じっくり腰を据えておいしい野菜を消費者に提供していきたい」と今後の展望を語る。自販機で販売する野菜については、インスタグラムでも発信している。(ID: @vegast and_ense) (大山崎町農業委員会)

京都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075-441-3660